

手話言語条例ができました

令和2年
4月1日施行

平成25年鳥取県で初めて手話言語条例が制定されたのを皮切りに、全国各自治体で手話言語条例制定の動きが広まっています。今年、交野市でも「みんなで咲かそう手話の花」交野市手話言語条例が制定され、4月1日から施行されました。手話への理解と普及を目指して、いろいろな取り組みが始まります。先日、黒田市長の新型コロナウイルス対策動画にも手話通訳が付き、聞こえない



手話で
「ありがとう」

方に情報を伝える事ができました。手話は、特別な言葉ではありません。手話を使う聴覚障がい者にとって当たり前の日常です。あらゆる生活の場面で当たり前のことが出来る。そんな社会へ一歩前進です。

(さつき)

リーダー会議（6月23日）

☆会長挨拶

・当面の活動について（1頁参照）

☆社会福祉協議会より

・青山局長挨拶

・Vコーディネーター、職員紹介

・各務課長代理挨拶

☆連絡会から

・連絡会会則・細則について

・ボランティア研修交流会の開催と
二大行事について（1頁参照）

☆Vセンターから

・ボランティアの新しい生活様式
（2頁参照）

・ボランティアセンター活動室利用
について

・ボラセンよってつて（3頁参照）

・ボランティアサロン（4頁参照）

・連絡会ホームページ更新について
（年2回、7月28日締切り）

・エコキャップ回収中止（1頁参照）

・夏の体験プログラム、今年は中止

・大阪コロナ追跡システムについて

・センター事務所の物品貸し出し終了について

☆各グループから

・全グループから近況報告を受けました（内容省略）。活動再開については1頁参照



高校を卒業して数10年になりますが、今でも仲間と連絡を取り合ったり、集合して食事をしたり、あれこれ相談したり仲良くしています。

今回の自粛生活で飲食店を経営している仲間は、本当に大変だったようで、テイクアウトを始めたのを知り、皆でテイクアウトを利用しました。雑貨屋の仲間も、店を閉めながらオンラインでの販売を始め、皆で注文し、自分たちにできることを皆で出し合い、励まし合いました。

また、看護師の仲間は新型コロナウイルス患者の受け入れをしない病院の勤務ですが、マスク、防護服、消毒液などが手に入りにくい。

通院の自粛が増えてきて病院自体の経営が苦しくなる。このことについては、私たちに協力できることは何か？不要不急の外出をしない。しか見つかりませんでした。

何かあった時の不安や苦労など仲間です。話せることが、すごく幸せで大切なことだと再認識しました。まだまだ不安はありますが、早くたくさん仲間、ボランティアの仲間もたくさんいるので、皆で笑い合える日々が戻ることを願っています。

（クローバー）

ユニバーサルデザインに触れよう

誰でも気軽に参加でき、ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流するサロンを開催しています。

8月は、ボランティア活動紹介DVDを鑑賞後、ユニバーサルデザイン(※)の製品に触れ、みんなが安心して暮らせる「場所」「もの」「こころ」について一緒に考えましょう。

朗読グループ「あい」の活動紹介もあります。

※ユニバーサルデザインとは障がいの有無や年齢、性別、国籍などにかかわらず、製品・環境・建物・空間などをできるだけ多くの人が利用できるようにデザインすることです。

と き：8月31日（月）10時30分～12時

ところ：交野市ボランティアセンター2階

講 師：朗読グループ「あい」

対 象：市内周辺在住・在勤・在学者

定 員：15人

参加費：無料

申込み：交野市ボランティアセンター

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 894-3737)
(Fax 891-3340)

コロナ禍を転機に

活動スタイルを見直す機会

人との関係性を維持しながら考えよう

新型コロナウイルスが暮らしを一変させました。テレワークが進み、できるだけモノに直接手で触れないようにしながら人と人の接触を可能な限り避ける生活スタイルに変わりつつあるようです。しかし障がいのある人の多くは、人との関係性の中で日常を過ごしています。人の絆まで遠ざけてしまわないよう、これらのボランティア活動について、各グループの特性を活かした活動スタイルを創り上げていきたいものです。同様に連絡会の活動についても、新たな活動スタイルを模索していきます。

状況変化に対応した活動で

令和2年度の活動開始前に、世界的コロナウイルス禍となり、長い自粛生活に入りました。当たり前に参加していた活動が突然休止となり、思いもしなかった先の見えない暮らしに、普通に過ごしていた日々が如何にありがたい事であったかを再認識しました。

連絡会の活動も当初描いていた通りにはできない状況がはつきりしてきました。過去の形にとらわれずに柔軟性と新たな知恵を出しながら進めてまいります。ボランティアみなさんのご理解と積極的な関わりをお願いします。

当面する活動として、リーダー親

グループ活動再開へ

6月に入り各グループの活動が始まりました。活動状況は様子を見ながら少しずつ始めるグループ、市の委託を受けて広報などの音訳・点

訳をしているグループ、まだ活動開始に至らないグループなど状況は様々ですが、利用者みなさんの拠り所として早い再開を望まれています。

◎活動を再開したグループ

あい・虹の会・糸ぐるま

◎近く活動を始めるグループ

アリス・ふれんズ

◎活動再開を検討中のグループ

陽だまり・HAND・玉手箱
かざぐるま・ひまわり

（6月30日現在）

エコキャップ回収

中止のお知らせ

日頃よりエコキャップ（ペットボトルキャップ）の回収にご協力いただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間エコキャップの分別作業を中止しています。

それに伴いゆうゆうセンター館内及びボランティアセンターの回収も中止しています。ご理解・ご協力をお願いします。

再開の目途が立ちましたら社会福祉協議会ホームページにてお知らせします。

ボランティア通信 2020. 7 Vol. 241



なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会

（交野市ボランティアセンター内）

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp

Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアの新しい活動様式

6月に入りボランティアセンターでの活動が順次再開されることになりました。活動の再開にあたっては、感染防止の観点から従来の活動スタイルを改め、新たな方法がとられるため活動室の使用法も含め、ボランティアセンターからお知らせします。ボランティアみなさんのご理解とご協力をお願いします。

(1) 基本的感染対策

- 感染防止の3つの基本…身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い
- 活動場所についてまずは手洗い・消毒をし、帰宅後もすぐに手洗い・消毒をするように周知徹底をしてください。
 - 人と人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空けてください。（イベントの場合ボランティアを含む参加者の総数は会場の収容定員の半分以上に留めてください）
 - 座席を配列する場合には、可能な限り対面にならないようにしてください。
 - ボランティア、参加者共に発熱等の症状がある場合には参加は控えさせていただきます。
- えてください。
- ボランティア、参加者共に発熱等の症状が無くてもマスクを着用してください。
 - こまめに換気し、空気を入れ替えるようにしてください。
 - 可能な範囲で実施時間を短縮してください。
 - 飛沫感染予防のため、飲食は配慮の上で行ってください。
- ・熱中症予防の水分補給はこまめに行ってください
- 高齢者、子ども、障がい者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、ボランティアも積極的な声掛けをお願いします。

□屋外の活動の場合にも、前記の考え方に従って対応してください。

屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合にはマスクをはずすなど熱中症予防を心がけましょう。

(2) 感染経路が把握できる体制整備

□参加者の氏名はもちろん、住所や電話番号の聞き取りを行い、万一ボランティアを含む参加者内で感染者が現れた場合に感染経路を追えるようにしてください。

(3) 再開にあたって検討が 필요한活動

- 昼休憩等での飲食などマスクを外さなければならぬ活動
 - 子どもが参加し、マスクの着用徹底が難しい活動
 - 歌を歌ったり、参加者同士で接触がある活動
- ※活動の再開にあたっては「3つの密」（密閉・密集・密接）を避け、前記（1）基本的感染対策に十分ご配慮ください。基本的感染

対策を満たすことが難しい活動や判断が難しい活動については、個別でボランティアセンターにご相談ください。

以上の方針は6月時点での国や府の考え方に基づくものであり、今後の状況によっては、方針を改めさせていただきます。ご了承ください。

マスクの材料提供、ありがとうございました

なかま4月号で呼びかけさせていただきました、布製マスク作りの材料提供に、多くのボランティアのご協力をいただきありがとうございました。

お寄せいただきました材料は活用させていただいています。



交野市ボランティア
グループ連絡会

▼訂正とお詫び

前号でお知らせしましたサブリーダー複数のグループで「糸ぐるま」島田聖子さん、「星の会」岩淵正子さんを単独に訂正します。



在りし日の
福永松栄さん

訃報

ボランティア活動の礎を

5月14日、交野市ボランティアグループ連絡会、初代会長の福永松栄さん（86歳・ほほえみ所属）が亡くなりました。

ボランティアのみなさん ボラセンよってって～

ボランティア活動を再開した人もまだ活動中止中のボランティアさんもボランティアセンターでしゃべりませんか？
久しぶりの人もはじめてボランティアセンターに来られる人も大歓迎です♪

【内容】
1 階活動室内にて自由に歓談
【お願い】
当日はマスク着用と検温をしてからお越しください。熱中症予防のため水分もお持ちください。
予約不要
～お待ちしております～



「外出自粛中
何してた？」

まだ活動
休みやねん

これなら
できるん
ちゃうかな

これからの
ボランティア
どうなるんやろ

こんな感染
対策してるよ

開催日

7/13（月）、7/29（水）、8/24（月）、9/16（水）

いずれの日も 10時～12時

出入り自由

ボランティアセンター 1階活動室



日頃できないおもちゃの整理と掃除ができました、あとは再開を待つばかりです

子育て広場「アリス」
おもちゃの整理と掃除

新型コロナウイルス感染防止で4月からお休みになっています。この休みを利用して日頃できないおもちゃの整理と掃除を6月4日にしました。

一つひとつ丁寧に拭いていると、突然音が鳴り、慌てて止めるのにひと苦勞、いつもと違って静かなお掃除です。園の先生方が棚におもちゃと同じシールの絵を貼ってくださいっていたので分りやすく短時間で作業が終わりました。

7月から、活動を再開しようと思っています。私たちも無理せず、検温、手洗い、マスク着用で気をつけて見守りたいと思います。

子どもたち、きてくれるかな？

昭和52年当時、交野市には、障がいのある人の作業所もなく、義務教育を終えた人は殆ど自宅で家族と過ごされていました。教育委員会が市広報でその人たちと交流をしてほしいと呼びかけ30人ほどの市民が集まり、交野市ボランティア協会を立ちあげました。そして福永さんが初代会長に就任され、交野市におけるボランティア活動の礎を築かれました。会長職を19年の長きに亘って務めていただき、現在の活動は、福永さんの働き無くしては語れません。

福永さんありがとうございます。ご冥福をお祈りいたします。（合掌） 栗原